

2026 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 S A N E I 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 松 井 優 樹
(コード番号：6230 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 専 務 執 行 役 員 コーポレート本部長 新 田 裕 二
TEL. 06-6972-5955

**2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2026 年 5 月 7 日に公表いたしました 2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と本日発表の実績の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、同日に公表いたしました 2027 年 3 月期 通期の連結業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000	百万円 780	百万円 750	百万円 480	円 銭 104.85
実 績 値 (B)	14,441	333	283	175	38.27
増 減 額 (B-A)	△559	△447	△467	△305	
増 減 率 (%)	△3.7	△57.3	△62.3	△63.5	
(ご参考)前期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	14,027	667	695	440	96.30

2. 差異の理由

2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）の売上高につきましては、水まわりに関する幅広い製品ラインナップを強みとして「心地よさ、シンプルさ、家に。」をコンセプトとした「IENI」シリーズが引き続き好調に推移したことに加え、自動水栓などの高付加価値製品の販売が伸長しましたが、住宅市場の落ち込みによる需要の低迷もあり前回発表予想値をやや下回る結果となりました。

利益面につきましては、上記の住宅市場の落ち込みに加えて、原材料価格の更なる高騰、販売価格改定の浸透がやや遅れたことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、前回発表予想値を下回る結果となりました。

3. 2027 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 30,800	百万円 2,000	百万円 1,950	百万円 1,280	円 銭 279.61
今回修正予想 (B)	29,500	1,100	1,000	650	141.99
増 減 額 (B-A)	△1,300	△900	△950	△630	
増 減 率 (%)	△4.2	△45.0	△48.7	△49.2	
(ご参考)前期実績 (2026 年 3 月期通期)	29,042	1,830	1,803	1,220	266.72

4. 修正の理由

2027 年 3 月期 通期の売上高につきましては、水まわりに関する幅広い製品ラインナップを強みとして「心地よさ、シンプルさ、家に。」をコンセプトとした「IENI」シリーズが引き続き好調に推移したことに加え、自動水栓などの高付加価値製品の販売が伸長しましたが、住宅市場の落ち込みによる需要の低迷もあり前回発表予想値をやや下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、さらなる物価高騰の進行が懸念されることから原材料・仕入価格の高止まりが想定され、顧客への販売価格の改定は浸透が進むと見込まれるものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回発表の予想（2026 年 5 月 7 日 業績予想）を下回る見通しとなりました。

（注）上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります

以 上